

インターネットで認知症がわかる

アイデメント

i DEMENT

認知症疾患早期診断プログラム

監修：岸川雄介 / 協力：キッセイコムテック（株）
提供：社会医療法人 城西医療財団

アイデメント

i DEMENT とは



i DEMENT（アイデメント）とは、インターネットで認知症の原因となる病気（認知症疾患）を診断できるプログラムです。
「医師向け」と「ケアスタッフ向け」があり、スマートフォンにも対応しています。

※医師向けは現在準備中です

20数年認知症の臨床に携わってこられたミサトピア小倉病院副院長 岸川雄介医師が、認知症の方の生活場面のより近くで活躍されている方々のために、日頃の観察をもとに疾患の診断ができるように考え、身近なもので利用できるよう実現した仕組みです。

スマートフォンにも対応し、介護現場で簡易診断が行えます。簡単なものですから診断は確定的なものではありませんが、疾患への見通しを得ることができ自信をもって医師への受診をアドバイスすることができます。また、医師の確定診断を得ることで知識や考え方を深めることもでき、より良い治療やケアの第一歩となります。是非ご活用ください。

お申し込みは城西医療財団のホームページからできます。

利用料金

事業所向け 6,300円（税込）/年間使用料 （月額相当 525円）
事業所内のスタッフは何名でも利用できます。

個人向け 2,520円（税込）/年間使用料 （月額相当 210円）

お問い合わせ

松本市城西1-5-16 城西医療財団SEC出版 TEL 0263-33-6400
FAX 0263-33-9920

いつも優しく

清澤研道病院長 着任のご挨拶



清澤病院長撮影：松本城にて

4月1日より赴任しました清澤と申します。
6年間長野にいましたが、松本に戻るになりました。
この度、関理事長にお声をかけていただき城西病院の職員の一員として働くことになりました。

私は内科医ですので一般診療を広く行いたいと思いますが、専門は消化器病、特に肝臓病です。
ウイルス性肝疾患、自己免疫性肝疾患の治療を専門としますが、最近注目されている生活習慣病に合併する脂肪肝（非アルコール性脂肪性肝疾患）にも興味を持っています。
趣味は下手な横好きですが、写真撮影です。
職員の皆さんと一緒に院内展覧会を催したいと思っています。

平成25年度
新たなスタート

城西医療財団 理念

私達は、病める人、障害を持つ人にいつも優しく、
最良の医療サービス及び福祉サービスを一体的に提供する。
また、心身の健康保持・増進を志向する人に最良の保健サービスを提供する。
利用者を身体的、精神的、社会的、そして倫理的に診療し、
科学的根拠に基づいた治療を行う。

2013年5月1日発行

●発行 社会医療法人 城西医療財団 〒390-8648 長野県松本市城西1-5-16 TEL 0263-33-6400 FAX 0263-33-9920
ホームページ <http://www.shironishi.or.jp>

●編集/発行者 広報文化委員会

うつについて

ミサトピア小倉病院副院長 桑村 智



うつ病に対する世の中の印象はこの十数年の間にずいぶんと変化しました。うつ病＝精神病＝特殊な病気、といった図式は過去のものとなり、誰しもがなり得る「心の風邪」と言われるようになりました。

実際に精神科医療機関を受診する患者さんの中でうつ病はとても多いのです。統合失調症は昔も今も1% 弱の発病率と言われていますが、単一疾患の発病率としては非常に高いものです。

うつ病は10 % かそれ以上、と言われますので、もはや家族や同僚、友人など身近な中にもうつ病もしくはうつ病経験者がいるのが現実でしょう。

花粉症になる方が増加している背景には、環境の変化や、食生活の変化があると言われています。花粉症の時期、自然と人間の関わりやご自身の食生活に想いを馳せてみるのも良いかもしれませんね。

年々増えているのか？現代社会の仕組みが原因なのか？暗黒の時代なのか？

これらの疑問は正解であり不正解でもあります。確かに社会環境からの影響を大いに受け、その数が増えているのも事実でしょう、しかし紀元前の時代から人間関係での苦悩はあったと思いますし、人の輪の中から徐々に距離をとるようになった人はいたと思います。そういった人たちの多くはうつ病やうつ状態にあったことが予測されます。

冒頭に「心の風邪」と記しましたが、誰もが患う可能性があることや必ず治ることから「風邪」の表現は的を得ていると思うのですが、私自身は本質的には「心の疲弊」であると考えています。先の見えない業務や性質の合わない上司・同僚との葛藤、または親や周囲からの期待に応えるべく無理を重ねていく、こういったことで精神的に疲れ切ってしまうことがうつ病の原因となることが多いと感じています。この時「自分がしっかりしなくては」という責任感が更に追い討ちをかけることになるのですが、この責任感が曲者で実際には「自分のやりたいようにできなくなる」ことが当人にとって大問題となるため、必要以上に抱え込んでしまうからです。自分の考えた方向に向かっていかない、結果にならないという事態は、プロセスや結果にこだわりを持つうつ病になりやすい傾向の人たちをととても苦しめます。こういったストレスに長時間曝されることで心は疲弊していくのです。



「無責任」では問題も生じるでしょうが、良い加減でバランスを取って生活することが肝要だと思っています。この数年でうつ病の薬物療法は飛躍的に進化していますが、いくら良いお薬を服用しても土台のバランスが良くないと効率が悪く完治に時間がかかります。日常生活を送っている中で「疲れているな、様子がおかしいな」と思ったらすぐに精神科医療機関を受診する必要があります。そして第一に疲れた心を休ませること、そして効果的な薬物療法を受けることで徐々にではありますが、うつ病は回復します。

健康センター

今回は、健康センターの紹介をさせていただきます。
健康センターでは、疾病予防、早期発見を目的にさまざまな健康診断を実施しています。
自分の健康状態を知るために、1年に1度は健康診断を受けてみてはいかがでしょうか？

健診コース

外来ドック（日帰り）

午前中で診察までのすべての検査が終了します。

内容：問診、身体計測、尿検査、便検査、血液検査、心電図、呼吸機能検査、胸部X線、腹部超音波、上部消化管検査、栄養指導等



入院ドック（1泊2日）

浅間温泉に宿泊になります。

内容：問診、身体計測、尿検査、便検査、血液検査、心電図(安静時・負荷)、呼吸機能検査、胸部X線、腹部超音波、上部消化管検査、胸部CT、心理検査、栄養指導等



一般健診

Aコース・・・問診、身体計測、胸部X線、尿・血液検査、心電図
Bコース・・・問診、身体計測、胸部X線、尿検査

そのほか、航空身体検査、全国健康保険協会管掌生活習慣予防健診、特定健診・特定保健指導、松本市乳がん検診も受け入れをしています。

ドック・生活習慣病予防健診は、医師の診察①後、管理栄養士または保健師による栄養指導②があり、メタボリックシンドローム判定に基づいた指導をしています。普段の食生活の見直しや健康相談が受けられます。また、運動が必要な方は院内のフィットネスルーム「S」ウェルネスクラブで健康運動指導士による運動指導③をうけていただくこともできます。このように①医療・②栄養・③運動による3つの側面からトータルでみなさまの健康を支えます。

来院して検査を受けることは、健康診断であっても不安だという方が多くみられます。そんな皆様の不安を少しでも解消し、快適に過ごしていただけるように健康センター一同心掛けていきたいと思っています。ぜひご家族、お知り合いなど声をかけていただいて、今後の健康的で充実した生活にお役立てください。

お問い合わせ 城西病院 健康センター TEL / FAX 0263-32-4624 (直)